



高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【男子】 第6節 第10日

開催日時 8月29日(土) 会場 小矢部ホッケー場 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 10:00~

立命館大学ホリーズ	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 0-1 \end{pmatrix}$	1	診療印刷
5勝 2分 0敗 勝点 17				勝点 10 2勝 4分 1敗

第2試合 11:40~

小矢部RED OX	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-1 \\ 1-1 \\ 0-1 \end{pmatrix}$	3	山梨学院OCTOBER EAGLES
3勝 0分 4敗 勝点 9				勝点 15 4勝 3分 2敗

第3試合 13:50~

天理大学ベアーズ	4	$\begin{pmatrix} 3-1 \\ 0-1 \\ 0-0 \\ 1-2 \end{pmatrix}$	4	ALDER飯能
4勝 2分 1敗 勝点 14				勝点 11 3勝 2分 2敗

第4試合 15:30~

名古屋フラーテル	9	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 2-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	法政大学
6勝 1分 0敗 勝点 19				勝点 4 1勝 1分 5敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 診療印刷

勝点 17 勝点 10
 5 勝 2 分 0 敗 3 PC 0 2 勝 4 分 1 敗
 10 シュート数 5

得点	立命→16分大橋		
	診療→52分生方		
戦評	試合開始早々、診療印刷はプレッシャーをかけボールを奪い試合を優位に進めようとするが、立命館大学の正確なパス回しと運動量でかわされ、チャンスを作ることができない。一方の立命館大学は、16分にP.Cを獲得し、#1大橋がドラッグシュートをきめ、前半戦を1対0で終了した。後半、診療印刷は前線からのプレッシャーから再三チャンスを作りシュートを放つが、DFの攻守に阻まれなかなか得点することができない。試合を優位にすすめる診療印刷は、後半51分、サークル内で#6村田がシュート。GKのリバウンドを#8生方が押し込み、1対1の同点とした。その後、両チームとも再三チャンスを作るが得点にはならず試合を終了した。		
テクニカルオフィサー	新井 健史	アンパイア	高橋 英行
ジャッジ	武部直美、太田美雪、竹倉昌美		野澤 達

第2試合

小矢部RED OX 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 1 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 3 山梨学院OCTOBER EAGLES

勝点 9 勝点 15
 3 勝 0 分 4 敗 4 PC 6 4 勝 3 分 2 敗
 8 シュート数 8

得点	小矢部→38分河合		
	山梨→19分松 43分伊藤 57分上澤		
戦評	前半、立ち上がり早々3分山梨学院は#6山崎のドリブルからチャンスを作るも小矢部REDOXの堅い守備に阻まれ、得点には繋げることができない。その後も山梨学院の攻撃が続き、19分にPCを取得し#17松がプッシュシュートを決め、先制点を上げる。追いつきたい小矢部REDOXは#13茶木、#27坂本を起点とする速攻からチャンスを作るも決めきれず、前半戦を終える。後半、小矢部REDOXが攻撃をしかけ、立て続けにPCを取得し、38分#6河合のドラッグシュートが決まり、同点に追いつく。しかし、43分山梨学院がPCを取得し、#15伊藤がドラッグシュートを決め、追加点を上げる。その後も一進一退のゲームが続き、後半57分山梨学院が中盤からのパスを#5川端がシュートし、そのリバウンドを#28上澤が押し込み、3対1で山梨学院が勝利した。		
テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	前田弘美、松保子、岩崎昌子		児玉 茂樹

第3試合

天理大学ベアーズ 4 $\begin{pmatrix} 3 - 1 \\ 0 - 1 \\ 0 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$ 4 ALDER飯能

勝点 14 勝点 11
 4 勝 2 分 1 敗 3 勝 2 分 2 敗

5	PC	4
8	シュート数	14

得点	天理→3分石川 11分黒川 15分落合 60分橋本		
	飯能→10分塚田 29分竹下 48分浅見 60分北里		
戦評	<p>ALDER飯能のセンターパスより試合が開始される。前半3分、天理大学は#13橋本の左からのパスを#10石川がサークルトップで受け確実に得点とした。前半10分、ALDER飯能はPCを取得し、#3塚田がゴール右上に豪快にフリックシュートを決め同点とするが、すぐ天理大学がPCを取得し、#8黒川が左下にフリックシュートを決め、点差をつけようとする。その後15分、天理大学は早いリスタートからサークル内でフリーの#6落合につなぎ、プッシュシュートで冷静に得点とした。前半29分、サークル内の混戦よりALDER飯能の#7竹下がリバースシュートを決め3対2で前半を折り返した。</p> <p>後半、試合が動き出したのは47分ALDER飯能、味方からのパスを#8浅見がキーパーを抜き得点とする。後半60分、ALDER飯能#11北里がドリブルからサークル内に入り、リバースシュートで得点し、逆転とした。しかしその後天理大学はエキストラPCを取得し、PC崩れから#6落合の打ち込みで#13橋本が反応し、4対4の同点で試合が終了した。</p>		
テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	小原 直也
ジャッジ	松保子、竹倉昌美、西永哲成		元宗 宏寿

第4試合

名古屋フラーテル 9 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 2 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$ 0 法政大学

勝点 19 勝点 4
 6 勝 1 分 0 敗 1 勝 1 分 5 敗

5	PC	0
31	シュート数	1

得点	名古屋 4分吉原 12分吉原 25分柳本 30分藤本 34分橘 45分塩川 52分長澤 56分竹中 57分井島		
戦評	<p>前半戦、名古屋フラーテルが試合開始直後からプレッシャーをかけ、積極的に攻撃を仕掛けるというゲーム展開となった。4分、プレスディフェンスからインターセプト。#12吉原がGKをかわしてシュートを決めた。13分には、ライト側から#4小野が回り込みゴール前にパス。#12吉原がダイレクトシュートを決めた。25分にも同じようなパターンから#23柳本がヒットシュートを決めた。30分には、インターセプトからの縦パスを#4小野がダイレクトパス。#9藤本がシュートを決め、名古屋フラーテルが4対0でリードし前半戦を終了した。</p> <p>後半戦、法政大学もライト側から攻撃を仕掛けるがチャンスを作れず、名古屋フラーテルがゲームを支配した。34分には#17橘がGKのリバウンドをプッシュシュート。45分には、#8塩川、52分には#14長澤、56分には#21竹中、58分には#13山下がそれぞれシャートを決め、9対0の大差で試合が終了した。</p>		
テクニカルオフィサー	新井 健史	アンパイア	細川 裕司
ジャッジ	前田弘美、武部直美、前田恵		西山 宏明